

JP04/196

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

PCT/JP 2004/000196

14. 1. 2004

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2 0 0 3 年 1 月 1 4 日

出 願 番 号  
Application Number: 特 願 2 0 0 3 - 0 0 6 4 5 5  
[ST. 10/C]: [ J P 2 0 0 3 - 0 0 6 4 5 5 ]

出 願 人  
Applicant(s): 株式会社フリージア

REC'D 27 FEB 2004

WIPO

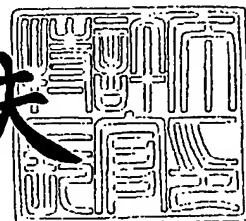
PCT

PRIORITY DOCUMENT  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH  
RULE 17.1(a) OR (b)

2 0 0 4 年 2 月 1 3 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 4 - 3 0 0 8 9 7 0

【書類名】 特許願

【整理番号】 FR03-01

【提出日】 平成15年 1月14日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A45D 44/22  
A61F 13/02

【発明の名称】 ストレッチ・テープ

【請求項の数】 7

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府和泉市テクノステージ 3 - 1 - 1 1 大阪府いず  
みテクノサポートセンター 2 F R F 2 0 6 株式会社  
フリーズ内

【氏名】 松井 英樹

【特許出願人】

【識別番号】 596128562

【氏名又は名称】 株式会社フリーズ

【代理人】

【識別番号】 100106851

【弁理士】

【氏名又は名称】 野村 泰久

【電話番号】 03-3238-0158

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 041391

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9708589

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ストレッチ・テープ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 目と目の間の目頭に近接して、もしくは目の横の目尻じりに近接して貼り付けられ、瞼の皮膚を伸張することにより目を切れ長にパッチリと整形することを特徴とする瞼整形用ストレッチ・テープ。

【請求項2】 前記テープが目頭もしくは目尻を指し示すような角度を付けられていることを特徴とする前記請求項1記載の瞼整形用ストレッチ・テープ。

【請求項3】 前記テープが巾5～15mm、長さ15～30mmであり、前記角度が20～60度であることを特徴とする前記請求項2記載の瞼整形用ストレッチ・テープ。

【請求項4】 逆U字形状、もしくは逆V字形状をなし、該逆U字形状、もしくは逆V字形状の頂部を目と目の間の鼻上部に、該逆U字形状、もしくは逆V字形状の両脚部を鼻中腹部の両側部にして貼り付けることにより、鼻中腹部を頭部方向に引っ張ることを特徴とする鼻整形用ストレッチ・テープ。

【請求項5】 前記テープの巾5～20mm、前記逆U字、もしくは逆V字形状の1辺の長さが15～35mmであり、前記前記逆U字、もしくは逆V字形状の開き角度が0～120度であることを特徴とする前記請求項4記載の鼻整形用ストレッチ・テープ。

【請求項6】 略三角形形状をなし、該三角形形状の中心を小鼻上部に貼り付けることにより、小鼻の軟骨を刺激し、小鼻を小さくすることを特徴とする小鼻整形用ストレッチ・テープ。

【請求項7】 前記テープの巾5～40mm、前記三角形形状の底辺の長さが35～50mmであり、前記三角形形状の頂点の開き角度が0～120度であることを特徴とする前記請求項6記載の小鼻整形用ストレッチ・テープ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、顔面の整形を目的に顔面に貼り付けられて用いられるストレッチ

・テープに関し、特に瞼の整形、および鼻の整形に適したストレッチ・テープに関する。

#### 【0002】

##### 【従来の技術】

日本人は目頭や目尻が被る傾向にあり、従来、目元をパッチリさせ、切れ長の目にするため、目頭や目尻を切開することが行われている。しかし、目頭や目尻の切開は手術の手間とリスク、及び費用がかかるため、それほど多くは行われていない。

#### 【0003】

また、従来鼻を高くするため、同様に整形手術がおこなわれているが、これも同じく手間とリスク、及び費用がかかる欠点がある。

#### 【0004】

また、特表2002-518306号公報、特開2002-239017号公報、特開2002-125992号公報等には、鼻孔を広げるためのテープが開示されており、特開2002-345870号公報には鼻筋矯正具が開示されている。また、特開平10-304935号公報には二重まぶた形成用テープが、特開平9-143026号公報には顔皺矯正用貼付具が、特開平9-168424号公報にはしわ、たるみ矯正具が開示されている。

#### 【0005】

しかし、これらのテープは、目頭を開く効果はなく、また鼻をすっきり高くするための効果も十分でないという欠点がある。

#### 【0006】

##### 【特許文献1】

特表2002-518306号公報

##### 【特許文献2】

特開2002-239017号公報

##### 【特許文献3】

特開2002-125992号公報

##### 【特許文献4】

特開 2 0 0 2 - 3 4 5 8 7 0 号公報等

【特許文献 5】

特開平 1 0 - 3 0 4 9 3 5 号公報

【特許文献 6】

特開平 9 - 1 4 3 0 2 6 号公報

【特許文献 7】

特開平 9 - 1 6 8 4 2 4 号公報

【0 0 0 7】

【発明が解決しようとする課題】

この発明は、手術等を行うことなく、顔面の所定の場所にテープを所定期間（3ヶ月～1年）、繰り返し（主に、就寝中）貼ることにより、目頭を開くことや、鼻をすっきり高くすることを目的とする。

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

この発明の瞼整形用ストレッチ・テープは、目と目の間の目頭に近接して、もしくは目の横の目尻じりに近接して貼り付けられ、瞼の皮膚を伸張することにより目を切れ長にパッチリと整形することを特徴とする。

【0 0 0 9】

さらに、前記テープが目頭もしくは目尻を指し示すような角度を付けられており、また前記テープが巾 5 ～ 1 5 mm、長さ 1 5 ～ 3 0 mm であり、前記角度が 2 0 ～ 6 0 度であることを特徴とする。

【0 0 1 0】

あるいは、この発明の鼻整形用ストレッチ・テープは、逆 U 字形状、もしくは逆 V 字形状をなし、該逆 U 字形状、もしくは逆 V 字形状の頂部を目と目の間の鼻上部に、該逆 U 字形状、もしくは逆 V 字形状の両脚部を鼻中腹部の両側部にして貼り付けることにより、鼻中腹部を頭部方向に引っ張ることを特徴とする。

【0 0 1 1】

さらに、前記テープの巾 5 ～ 2 0 mm、前記逆 U 字、もしくは逆 V 字形状の 1 辺の長さが 1 5 ～ 3 5 mm であり、前記前記逆 U 字、もしくは逆 V 字形状の開き角度

が0～120度であることを特徴とする。

【0012】

あるいは、この発明の小鼻整形用ストレッチ・テープは、略三角形をなし、該三角形の中心を小鼻上部に貼り付けることにより、小鼻の軟骨を刺激し、小鼻を小さくすることを特徴とする。

【0013】

さらに、前記テープの巾5～40mm、前記三角形の底辺の長さが35～50mmであり、前記三角形の頂点の開き角度が0～120度であることを特徴とする。

【0014】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施例を図面を用いて説明する。

【0015】

(実施例1)

図1は、この発明の目頭5、目尻6に貼り付けて、長期間（3ヶ月以上）主として夜間寝るときに連続使用することにより、図の矢印の方向に引っ張られて瞼の皮膚が伸び、目が切れ長でパッチリと整形するためのストレッチ・テープ1、2の使用状態を示す。そのストレッチ・テープ1、2の形状のいくつかの例を図2に示す。

【0016】

図2に示す如く、該テープは目頭もしくは目尻を指し示すような角度を付けられる形状が、目頭や目尻に引っ張る力が集中するので好適である。テープはほぼ水平に張られ、特に目頭間は両目頭を一枚のテープで張ることが望ましい。目尻も水平に張る方が目尻を水平方向に引っ張りので好ましい。また、この時の上記目頭もしくは目尻を指し示す角度は20～60度が好ましく、該テープは巾5～15mm、長さ15～30mm位が大ききとして適当である。このテープを長期間（3ヶ月以上）主として夜間寝るときに連続使用することにより、目頭が自然に開く効果があり、目頭が開くことにより切れ長でパッチリした目となる。これは目頭を切開した効果と同じであり、特に手術等の苦痛を伴わず、しかも非常に安い

費用で瞼が整形される。

#### 【0017】

##### (実施例2)

図3には、この発明の鼻に貼り付けて、長期間（1年以上）主として夜間寝るときに連続使用することにより、鼻の軟骨を刺激し、鼻筋がすっきりと高く整形されるためのストレッチ・テープの使用状態を示す。そのストレッチ・テープの形状のいくつかの例を図4に示す。

#### 【0018】

図4に示す如く、逆U字形状、もしくは逆V字形状をなし、該逆U字形状、もしくは逆V字形状の頂部を目と目の間の鼻上部に、該逆U字形状、もしくは逆V字形状の両脚部を鼻中腹部の両側部にして貼り付けることにより、鼻中腹部を頭部方向（矢印方向）に引っ張る作用をなす。また、このとき、鼻腔も広がるので、該テープはイビキ防止やスポーツの呼吸補助の目的にも用いることができる。該テープは、巾5～20mm、1辺の長さが15～35mm位が大きさとして適当であり、また前記前記逆U字、もしくは逆V字形状の開き角度が0～120度であることが好ましい。ただし、顔面に張る時は逆U字、もしくは逆V字形状の両脚が鼻の側面に沿って張られることになるので、その開き角度は正面から見て30～45度になる。

#### 【0019】

なお、従来の特表2002-518306号公報に記載されるような鼻の上に貼り付ける鼻テープは、鼻を上部（顔の前面方向、すなわち顔面に対して垂直方向）に持ち上げようとするものであるが、この発明の前記鼻テープは鼻を頭部方向に持ち上げようとするものであって、その引っ張る方向が90度異なる。

#### 【0020】

上記従来 of 鼻テープに比較すると、この発明の方が鼻孔を広げる効果は大きく、また鼻を縦方向に引っ張るので鼻筋をすっきりさせる点でも従来より効果が高い。

#### 【0021】

##### (実施例3)



図5には、この発明の小鼻に部分に貼り付けて、長期間（1年以上）主として夜間寝るときに連続使用することにより矢印方向に引っ張り、鼻の軟骨を刺激し、小鼻が小さくなり鼻がすっきりと高く整形されるためのストレッチ・テープの使用状態を示す。そのストレッチ・テープの形状のいくつかの例を図6に示す。

#### 【0022】

図6に示す如く、該テープの形状は三角形を中心とした形状で、三角形の頂点の角度は30～120度が好ましい。該テープは、巾5～40mm、底辺の長さが30～50mm位が大きさとして適当である。

#### 【0023】

##### 【発明の効果】

この発明のストレッチ・テープは、コストと肉体への負担の大きい手術等をすることなく、安価なストレッチ・テープを長期間、根気よく使用することにより、目や鼻の整形を簡便に行える顕著な効果を奏する。

##### 【図面の簡単な説明】

#### 【図1】

この発明の目のストレッチ・テープの使用状態を示す図である。

#### 【図2】

図1のストレッチ・テープの種々の形状を示す図である。

#### 【図3】

この発明の鼻のストレッチ・テープの使用状態を示す図である。

#### 【図4】

図3のストレッチ・テープの種々の形状を示す図である。

#### 【図5】

この発明の鼻の他のストレッチ・テープの使用状態を示す図である。

#### 【図6】

図5のストレッチ・テープの種々の形状を示す図である。

##### 【符号の説明】

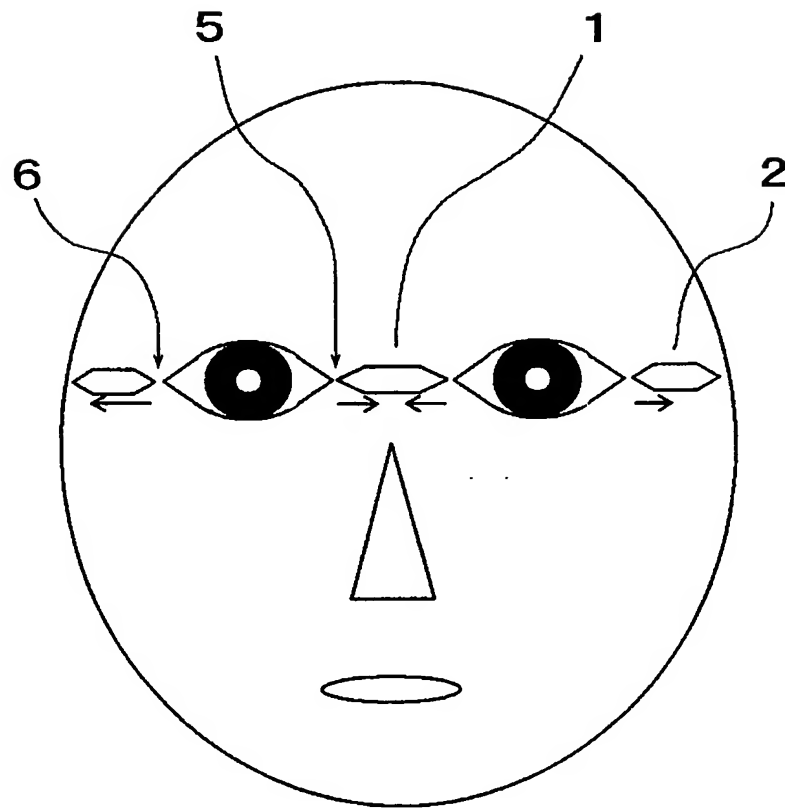
- 1        ストレッチ・テープ
- 2        ストレッチ・テープ

- 3      ストレッチ・テープ
- 4      ストレッチ・テープ

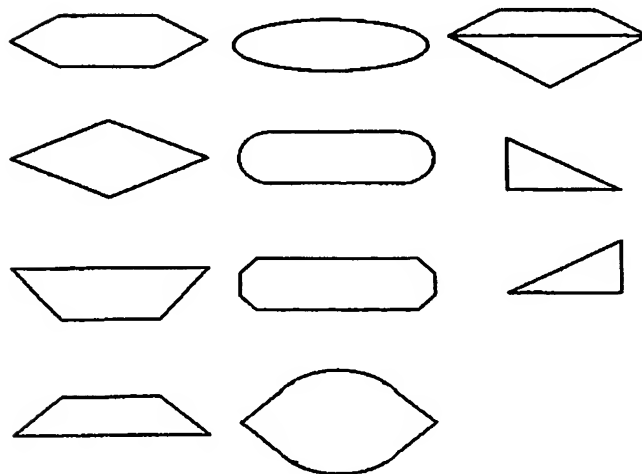
【書類名】

図面

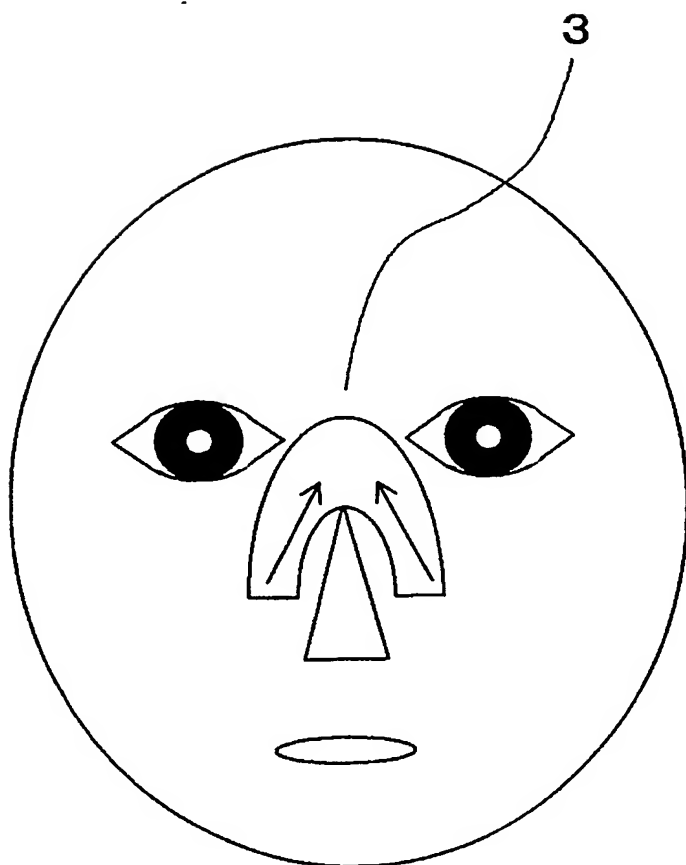
【図 1】



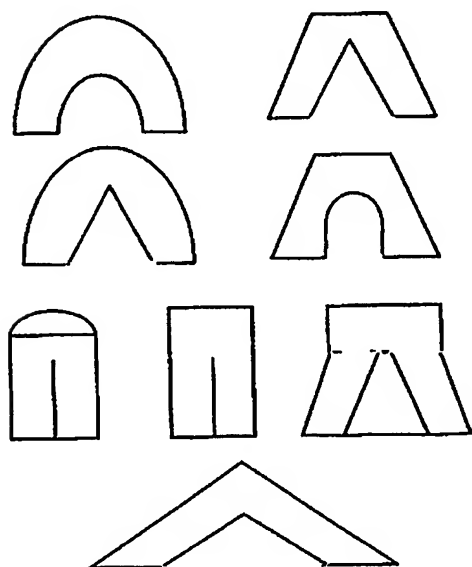
【図 2】



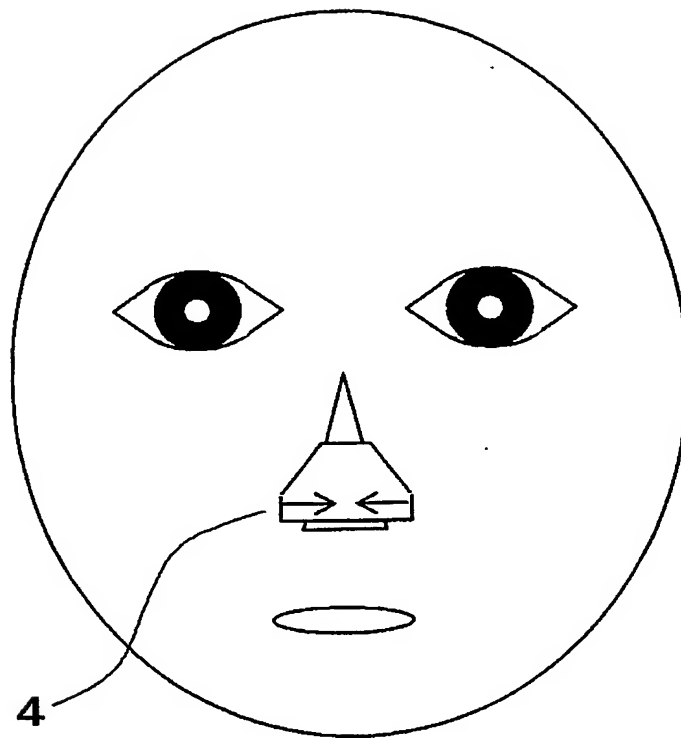
【図 3】



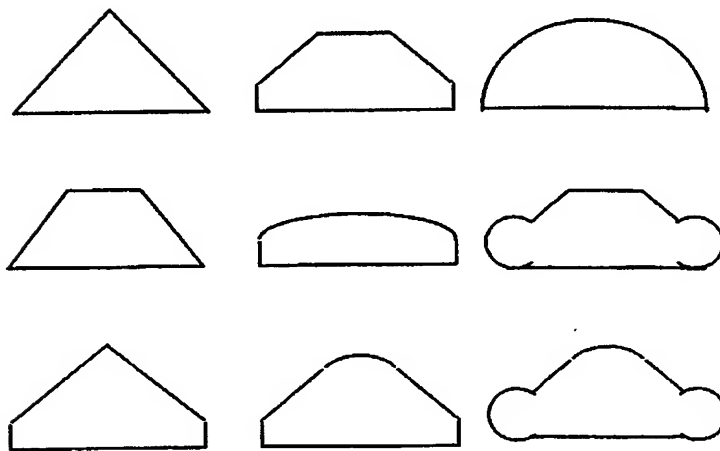
【図 4】



【図5】



【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 この発明は、手術等を行うことなく、顔面の所定の場所にテープを所定期間（3ヶ月～1年）、繰り返し（主に、就寝中）貼ることにより、目頭を開くことや、鼻をすっきり高くすることを目的とする。

【解決手段】 この発明の瞼整形用ストレッチ・テープは、目と目の間の目頭に近接して、もしくは目の横の目尻じりに近接して貼り付けられ、瞼の皮膚を伸張することにより目を切れ長にパッチリと整形する。前記テープは、目頭もしくは目尻を指し示すような角度を付けられ、また前記テープが巾5～15mm、長さ15～30mmであり、前記角度が20～60度である。あるいは、この発明の鼻整形用ストレッチ・テープは、逆U字形状、もしくは逆V字形状をなし、該逆U字形状、もしくは逆V字形状の頂部を目と目の間の鼻上部に、該逆U字形状、もしくは逆V字形状の両脚部を鼻中腹部の両側部にして貼り付けることにより、鼻中腹部を頭部方向に引っ張る。前記テープの巾5～20mm、前記逆U字、もしくは逆V字形状の1辺の長さが15～35mmであり、前記前記逆U字、もしくは逆V字形状の開き角度が0～120度である。

【選択図】 図1

特願 2 0 0 3 - 0 0 6 4 5 5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 5 9 6 1 2 8 5 6 2 ]

1. 変更年月日 2 0 0 2 年 6 月 1 6 日

[変更理由] 住所変更

住 所 大阪府和泉市テクノステージ 3 - 1 - 1 1 大阪府いずみテク  
ノサポートセンター 2 F R F 2 0 6

氏 名 株式会社フリーズ